

なぜ、我々は「志」を抱いて生きるのか。
その理由を述べよう。

「成長し続ける人生」を生きるため。

それが、第五の理由だ。

では、「成長し続ける人生」とは、何か。

それは、

命尽きるその日まで、

人間として成長していく人生のこと。

では、なぜ、我々は、成長し続けようとするのか。

その理由は、すでに話した。

最後に、もう一度、大切なことを述べよう。

人生には、「三つの真実」がある。

人は、かならず、死ぬ。

人生は、ただ一度しかない。

人は、いつ死ぬか分からない。

君は、若き日に、その真実を見つめなければならぬ。

そして、その真実を見つめるならば、

君は、思うだろう。

自分の人生を、大切にしたい。

そう思うだろう。

かならず終わりがやってくる人生。

ただ一度かぎり我々に与えられた人生。

いつ終わりがやってくるか分からない人生。

その自分の人生を、大切にしたい。

君は、そう思うだろう。

では、「自分の人生」を大切にすることは、何か。

それは、「自分の人生で巡り会った人々」を大切にすること。

なぜなら、我々の人生とは、「人との巡り会い」に他ならないからだ。

一人の人間が生まれてから、この世を去っていくまで、

その人生のすべての出来事は、

「人との巡り会い」によって、与えられていく。

家庭において、いかなる両親や家族と巡り会うか。

学校において、いかなる先生や級友と巡り会うか。

職場において、いかなる上司や仲間と巡り会うか。

恋愛において、いかなる恋人や友人と巡り会うか。

結婚において、いかなる伴侶や子供と巡り会うか。

趣味において、いかなる先輩や知人と巡り会うか。

人生のすべての出来事は

その「人との巡り会い」によって、導かれていく。

そうであるならば、「自分の人生」を大切にすることは、何か。

それは、「自分の人生で巡り会った人」を大切にすること。

日本に古くからある言葉を使うならば、

「縁」を大切にすること。

自分の人生で「縁」を得た人を

大切にすること。

では、「人を大切にすること」とは、何か。

それは、「親切にする」ということだろうか。

それは、「優しくする」ということだろうか。

それは、「愛する」ということだろうか。

もとより、それは、とても大切なことだ。

自分の人生で巡り会った人に、親切にする、優しくする、愛する。

それは、とても大切なことだ。

しかし、この言葉は、難しい言葉でもある。

なぜなら、人生には、

何が親切なのか、

何が優しいのか、

何が愛することなのか、

分からないことが多いからだ。

例えば、仕事で苦しんでいる人を助けてあげる。

それは、ある意味で、とても親切なことだ。とても優しいことだ。

しかし、もしかすると、

そのとき、その人が、

仕事の苦勞との格闘を通じて、大切な何かを掴み、

成長する機会を奪っているのかもしれない。

そのとき、その人の心の中に、

苦しいときは誰かに助けてもらえろという

依存心を育ててしまっているのかもしれない。

だから、親切にする、優しくする、愛する。

これらの言葉は、難しい言葉だ。

何が親切なのか、何が優しいのか、何が愛することなのか、分からない。

とても難しい言葉だ。

では、もし、そうであるならば、

「人を大切にする」とは、何か。

一言で述べよう。

それは、「互いに成長する」ということ。

人生で巡り会った人を大切にすることは、

その巡り会いによって、

互いに人間として成長するということ。

巡り会いによって与えられた時間、

その時間を共に過ごすことによって、

互いに人間として成長するということ。

それが、「人を大切にする」ということの
本当の意味だ。

だから、人生で巡り会った人と、
ときに、心の摩擦があっても良い。
ときに、心の衝突があっても良い。

それによって、心が離れてしまうことがなければ、
互いの心に葛藤が生まれても良い。

その葛藤を通じて、

互いの心が成長していくことができるならば、
互いが人間として成長していけるならば、
それは、素晴らしいことだ。

例えば、本当の友人は、
ときどき喧嘩もするが、心は深く結ばれているもの。
そして、永い歳月を共に歩み、互いに成長していくものだ。

しかし、一方で、

互いが傷つくことを恐れ、
互いに相手の心の奥に触れないようにする人間関係がある。
それは、表面的な波風は起こらないが、
互いの心が成長していくことができない人間関係。
互いが人間として成長していけない人間関係。

それは、本当に相手を大切にしている関係ではない。

では、どうすれば、人生で巡り会った人と、
互いに人間として成長していくことができるのか。

そのために大切な心得は、いくつがあるが、
ここでは、最も大切な心得を、君に伝えておこう。

それは、何か。

「正対」すること。

それが、最も大切なことだ。

では、「正対」するとは、何か。

相手の心に、正面から向き合うことだ。

「どうせ、分かりあえない」

「どうせ、好きになれない」と

決して、「斜め」に構えず、

相手の心に対して、こちらの素直な心で、

正面から向き合うことだ。

正直に、誠実に、真剣に、

相手の心に、接することだ。

もし、それができたら、

かならず、何かが変わるだろう。